

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は、2026年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに、大会要項及び申し合わせ事項によって行う。
2. 本競技会は**安全・安心できる競技会を目指し**、開催します。競技者・競技役員・補助員以外は競技場への立ち入りを禁止します。競技者の競技場への出入は原則、100mスタート付近ゲートとフィニッシュ付近ゲートからとします。
3. TIC(総合案内所)は正面玄関に設けます。競技上の疑問点等はTICで確認すること。
4. トラック競技は1レースのみ、走高跳・棒高跳を除くすべてのフィールド競技は3回の試技とします。
5. **招集は現地招集とします。**(招集完了時間を確認し、余裕を持って集合する。アスリートビブス・腰ナンバー等確認)招集時間及び完了時間は、競技開始時間を基準とし、以下のとおりとする。招集時刻に遅れた者は棄権したものとみなします。

種 目	招 集 時 間	備 考
トラック各種目	競技開始の15分前完了	タイムテーブル参照
棒 高 跳	競技開始の60分前完了	練習試技は現地で行う
他のフィールド種目	競技開始の30分前完了	

リレー種目については、各チームが自分の組・レーンを確認し、第1走者のみがスタート地点で招集確認を受けること。

リレーのオーダー用紙はTIC(正面玄関)で受け取り、走順を記入し、第1組目招集完了時刻の1時間前までにTIC(正面玄関)へ提出すること。一度提出したオーダー用紙は招集完了時間前であっても差し替えが出来ないので注意すること。

リレーのマーカ(最大50mm×400mm)は各チームで用意すること。レース後は参加チームが責任をもって撤去すること。

6. アスリートビブス(ナンバーカード)は、県内・県外所定の登録番号(中体連・高体連・一般)とし、各自で用意すること。
県外から出場する競技者は当該県のビブスナンバーが良い。トラック種目は胸と背に、跳躍種目は胸または背のどちらか一方のアスリートビブスを用意して参加すること。また、800m・1500mの種目に出場する競技者は各組のレーン番号を腰ナンバー標識として使用しますので各自で用意し、身体の右腰部につけること。**(100m～400mのセパレートレーン種目は不要)**
アスリートビブスの大きさは横24cm×縦16cm以内とし、腰ナンバー標識は18cm×12cmを標準とし、**文字は太くはっきりと一見して確認できるもの**を用意すること。ジュニア種目についてもホームページで確認して下さい。
7. 走高跳のバーの上げ方については下記の通りとするが、それ以外については競技者の自己記録を考慮し、決定する。

中学女子	相談の上決定	1m05	5cm			1m40	以降・原則3cmとする
一般女子	相談の上決定	1m35	5cm			1m55	以降・原則3cmとする
男子	相談の上決定	1m40	5cm			1m70	以降・原則3cmとする

尚、棒高跳については最初の高さ及びバーの上げ方については競技者の自己記録を考慮し、決定する。

8. スパイクシューズのピンの長さは9mm以下、(ただし走高跳・やり投は12mm以下)とする。これらのピンの直径は少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、11本以内とする。その他、靴底と踵(スパイク・ランニングシューズを含む)については規則に適合したものを使用すること。尚、**ジュニアの部についてもこれを適用する。TR5.2**
9. ウォーミングアップでバックストレッチを利用する場合は競技役員の指示に従い、競技場の安全な使い方を遵守すること。
10. 投てき器具(やり・円盤)は2個まで検査をして使用することができる。競技開始時間の90分～60分前にフィニッシュ地点横の用器具庫へ持参して検査を受けること。
11. その他
 - ① ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。(陸上競技場の駐車場は審判員を優先とさせていただきます。)
 - ② 競技中に発生した事故等について、応急処置は主催者で行うが、以降の責任は負わないものとする。
 - ③ 記録の発表は、アナウンス並び掲示・埼玉陸上競技協会速報サイトにて発表します。
 - ④ 円滑な競技会運営をするために各学校2～3名は補助役員としてご協力をお願いします。
 - ⑤ 各自で出したゴミは**自己処理の原則**としますので、各自でお持ち帰りをお願いします。
 - ⑥ 物品及び貴重品の管理は各自の責任において行い、紛失・盗難には十分に注意すること。
 - ⑦ 記録証の発行を希望する競技者は申請書に必要事項を記入し、発行手数料300円を添えてTICまで申し込んでください。